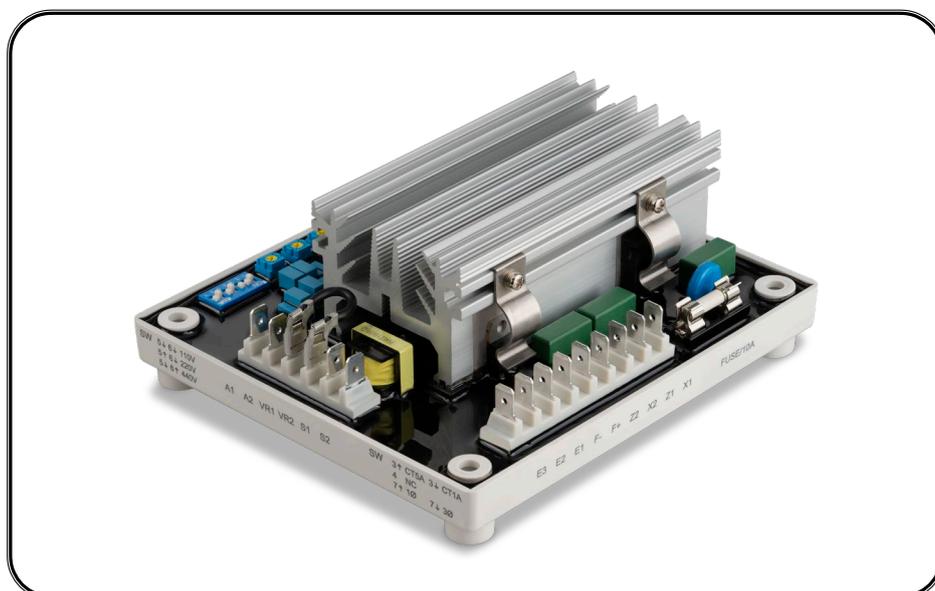


ADVR-083-400HZ

発電機自動電圧調整器取扱説明書



400Hz 中周波数汎用型 8Amp アナログ / デジタル、単相 / 三相電圧測定
自励磁式、補助巻線式、又は永久磁石式 (PMG) ブラシレス発電機用自動電
圧調整器

航空用途、軍用規格、および一般的な中周波数 400Hz 自励式ブラシレス発電
機に対応します



KUTAI ELECTRONICS INDUSTRY CO., LTD.

TEL : + 886-7-8121771

FAX : + 886-7-8121775

ウェブサイト: www.kutai.com.tw

所在地 / No.3, Ln. 201, Qianfu St., Qianzhen Dist., Kaohsiung City 806037, Taiwan

ISO 9001
ETC

第一章 電気仕様

検出電圧入力(E1、E2、E3) 平均値読取

電圧と周波数は DIP スイッチで設定する

単相 (E1、E2) / 三相 (E1、E2、E3)

90 – 130 Vac @ 110 Vac

180 – 260 Vac @ 220 Vac

340 – 520 Vac @ 440 Vac

周波数 320-420 Hz

主電源入力 (X1、X2、Z2)

電圧 60 – 300 Vac 単相/三相

単相 (X1、X2) / 三相 (X1、X2、Z2)

周波数 40 – 500 Hz

補助電源入力 (Z1、Z2)

電圧 60 – 300 Vac 単相二線

周波数 40 – 500 Hz

励磁出力 (F+、F-)

110V 単相 連続 63 Vdc 8A

最大 90 Vdc 10A 10 秒

220V 単相 連続 125 Vdc 8A

最大 180 Vdc 10A 10 秒

220V 三相 連続 150 Vdc 8A

最大 215 Vdc 10A 10 秒

励磁抵抗 最小 15Ω、最大 100Ω @ 220V

ヒューズ規格 5 x 20mm 10A スロー ブロー タイプ

外部電圧調整 (VR1、VR2)

最大 +/- 10% @ 1 KΩ 1 watt ポテンショメータ

電流補償入力 (S1、S2)

CT N:5A 又は N:1A (ディップスイッチで設定) 容量 5VA 以上

感度 +/- 7% @ PF +/- 0.5

変化量は Droop で調整

アナログ電圧入力(A1、A2)

入力抵抗 2 KΩ 以上

入力範囲 +/- 5 Vdc or 0 – 10 Vdc

感度 1 Vdc あたり最大変化 5%

変化量は Trim で調整可能

電圧確立

電源入力の残留磁束電圧が 5Vac 25Hz 以上であること

電圧緩昇時間

4 秒 +/- 10%

電圧調整率

+/- 0.5%以下 (周波数変動 4%以内)

応答時間

20 ms 以下

EMI

内蔵電磁干渉フィルター

静的消費電力

最大 6 watts

低周波保護 (工場出荷時設定)

400 Hz システム ニーポイント 360 Hz

過励磁電圧保護

電源入力の 25 – 105% (OE で調整可能)

10 秒遅延。使用しない場合は、OE を最大まで時計回り

電圧温度ドリフト

-40 – +70 °C · 3%以下

低周波ニーポイント温度ドリフト

-40 – +70 °C · +/- 0.1 Hz 以下

使用条件

操作温度 -40 至 +60 °C

保存温度 -40 至 +85 °C

相対湿度 95%以下

振動 5.0 Gs @ 60 Hz

寸法

150.0 (L) x 135.0 (W) x 61.0 (H) mm

5.91 (L) x 5.31 (W) x 2.40 (H) inch

質量

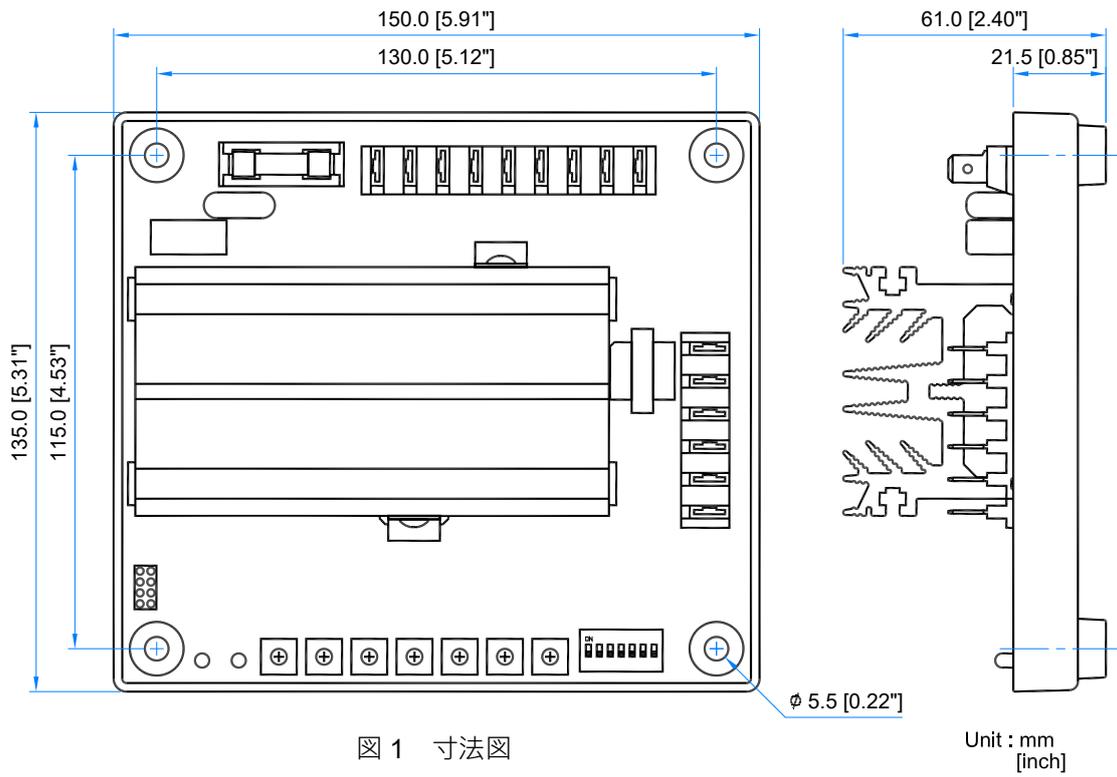
750 g +/- 2%

1.654 lb +/- 2%

注意!!

起動前に、測定電圧の設定値 (DIP スイッチ SW5・SW6) が正しいか必ず確認してください。誤設定は AVR の永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

第二章 外形 / 寸法 / 取付見取図



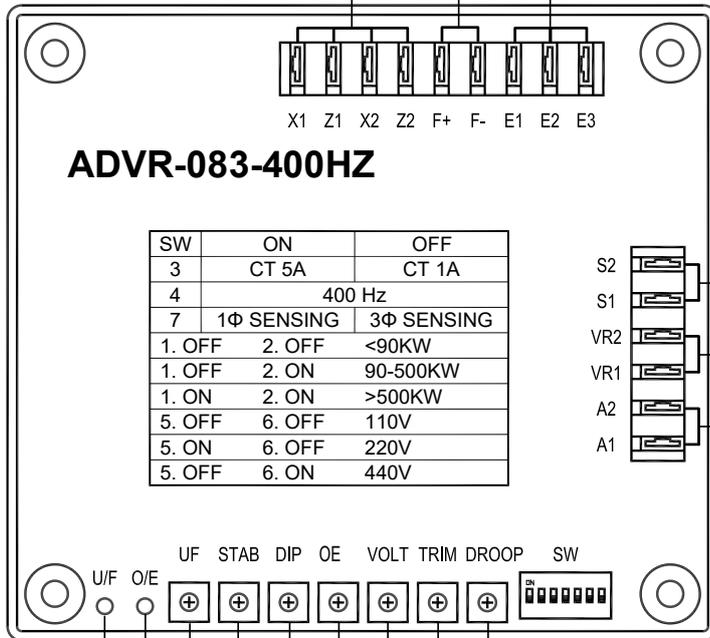
第三章 表示灯とポテンショメータ調整

X1、X2：単相電源入力
Z1、Z2：補助電源入力
X1、X2、Z2：三相電源入力

注：X1とZ1は共通点(内部で短絡済み)

F+、F-：磁場出力
 発電機の磁場に接続

E1、E2：単相測定電圧入力
E1、E2、E3：三相測定電圧入力
 単相/三相 設定は DIP スイッチ 7 で切替



S1、S2：電流補償入力
 PF +/- 0.5 に 7% の電圧降下
 に対応、最大入力 1A 又は
 5A (DIP スイッチ 3 で設定)

VR1、VR2：外部 VR 入力
 使用しない場合は短絡してください

A1、A2：アナログ電圧補償入力
 入力範囲：+/- 5 Vdc または 0 -
 10 Vdc

U/F：低周波保護表示灯
 保護が作動すると点灯する

O/E：過励磁電圧保護表示灯
 磁場出力電圧が設定値を超え
 ると点灯し、10秒以上超過すると
 出力が低下する

UF：低周波保護調整
 400 Hz システム：320 - 400 Hz 調整可能

STAB：安定調整
 安定調整範囲は、DIP スイッチ 1 と 2 で設定する

DROOP：電流補償に電圧下る調整

TRIM：アナログ電圧入力調整

VOLT：電圧調整
 調整範囲はDIPスイッチ5、6で設定する

OE：過励磁電圧保護調整
 調整範囲：電源入力の25%~105%
 時計回りで最大は保護の無効化

DIP：低周波保護電圧下垂率調整
 周波数が低周波保護の転換点を下回
 ると、電圧の下降率はDIPスイッチで
 調整可能。調整範囲は3~6 V/Hzです

第四章 結線図

破線は三相入力の一つを示しています。単相入力時は破線に接続しないでください。

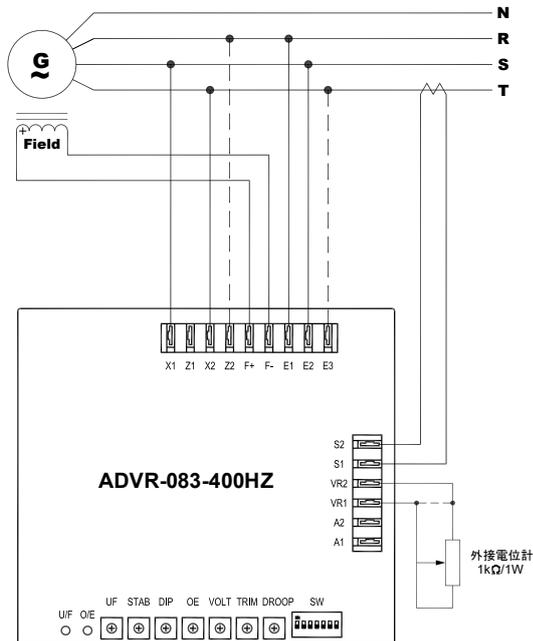


図3 自励磁式 110/220 Vac 単相/三相測定

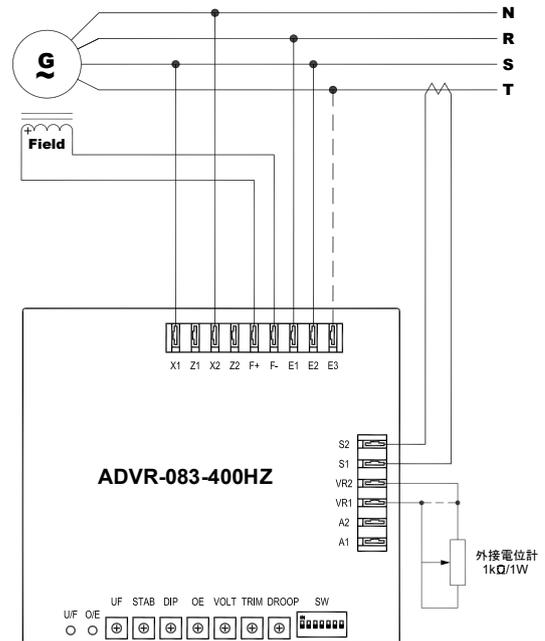


図4 自励磁式 440 Vac 単相/三相測定

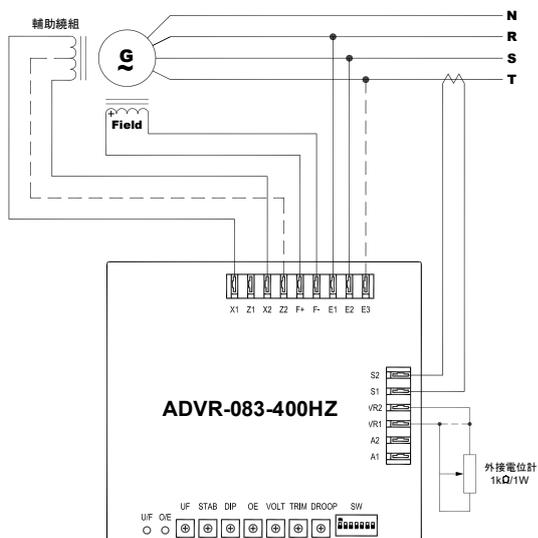


図5 補助巻線 110/220/440 Vac 単相/三相測定

注意!!

1. 高抵抗計や耐圧試験器で測定前に、AVRの接続線を外し、高電圧による損傷を防ぐ。
2. 不適切な低周波保護調整は、負荷変動時に電圧低下や不安定を招くため、U/F ノブは不要な調整を避ける。
3. AVRの並列運転時は、過励磁保護を無効にする。

※ 指定された種類と定格のヒューズのみ交換可能です。

※ 製品の性能、仕様、外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。